

科目名	保健・体育			担当教員	横山学		
学年	2年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	3
分野	一般	授業形式	実技	科目番号	08G02_20120	単位区別	履修単位
学習目標	様々なスポーツの運動理論を理解し、基礎技術を修得する。その種目のルールを把握し、それらのスポーツを实践できるようにする。また、スポーツテスト等で、個人の体力・運動能力を把握し、それらの維持と向上をはかる。						
進め方	個人種目については、各種目の基本の理論を説明したうえで、基礎技術の实践を行い、修得できるようにする。団体種目については、個人の基礎技術を修得したうえで、各種目の運動理論を理解する。また、各種目のルール説明を行い、試合を行うことで、それらの種目の運営をできるようにする。						
履修要件							
	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
学習内容	1 年間授業の概要説明	(1)		年間計画を説明し、体育授業の目的・取り組む姿勢を理解する。		F2:1-4	
	2 【ソフトボール】						
	3 捕球・送球の基礎技術	(2)					
	4 バッティングの基礎技術	(5)		ソフトボールの基礎技術（捕球・送球・バッティング）を修得し、ゲームの中で、関係プレーが行なえるようにする。また、ルールを把握しゲームを運営できるようにする。		F2:1-4	
	5 ルール説明	(1)				F3:1-5	
	6 関係プレーの理論	(2)					
	7 ゲーム	(8)					
	8 実技試験	(1)					
	9 【バレーボール】						
	10 パスの基礎技術	(1)		バレーボールは、1年時にパスの技術を修得してあるので、主にスパイクの基礎技術を修得する。また、ルールを把握し、ゲームを運営できるようにすると共に、サーブレシーブのフォーメーションを理解し、ゲームの中で、スパイクが打てるようにする。		F2:1-4	
	11 スパイクの基礎技術	(5)				F3:1-5	
	12 ルール説明	(1)					
	13 フォーメーションの理論	(2)					
	14 ゲーム	(8)					
	15 実技試験	(1)					
	16 【水泳】						
	17 各種目練習	(3)		水に慣れると共に、各競泳種目を理解し、それらの泳ぎの向上を目指す。		F2:1-4	
	18 リレー・メドレーリレー	(2)				F3:1, 2	
	19 タイム測定	(1)					
	20 【スポーツテスト】			毎年測定することにより、自分自身の運動能力を把握し、運動能力の向上を目指す。		F1:1-4	
	21 記録測定	(4)					
	22 【ハードル】						
	23 基礎技術	(6)		個人の運動能力を向上させると共に、ハードル技術を修得する。		F2:1-4	
	24 記録測定	(1)				F3:1, 2	
	25 【バスケットボール】						
	26 対人練習	(3)		バスケットボールの基礎技術（パス・ドリブル・シュート）を修得する。2人以上のプレイを理解し、ゲームの中で活用できるようにする。また、ルールを把握しゲームを運営できるようにする。		F2:1-4	
	27 ルール説明	(1)				F3:1-5	
	28 フォーメーションの理論	(2)					
	29 ゲーム	(8)					
	30 実技試験	(1)					
	31 【サッカー】			ルールとシステムを理解し、ゲームを運営できるようにする。		F3:1-5	
	32 ルール説明	(2)					
	33 ゲーム	(8)					
	34 【保健】保健は、体育の授業の中に組み込む内容もある。	(10)		いろいろな社会の環境を理解する。		A1:2, 4	
	35						
評価方法	各種目の実技試験と平常点（出席率、授業態度）で総合評価を行う。						
関連科目	特になし						
教材	教科書「アクティブスポーツ」（総合版） 大修館書店						
備考	特になし						